

道徳科通信

全学年用 第4号
令和2年10月28日
担当 岡野 恵子



何が問題だったのか? ~ 猫の飛び出し? 安全運転? 約束?? ~

秋の好日。1年生の授業の様子を紹介します

教材名：『疾走、自転車ライダー』（読み物資料）

-安全への心構え(節度, 節制)-

行雄は、憧れの自転車を買ってもらいます。「大切に乗り」「スピードが出るから安全には気をつける」それは父との約束でした。「安全に運転するよ。」自転車は、なくてはならない相棒になりました。

ある朝、寝坊をした行雄は、狭い路地を自転車に乗って急いでいました。あせる気持ちから、みるみるスピードがあがります。少し前を、犬を連れておじさんが歩いていました。(こっちは急いでいるんだ、早くどいてくれよ。) 行雄はいらいらしながら、おじさんの横をスピードを出したまま、すり抜けました。「危ないじゃないか。」おじさんの怒った声に構わず、行雄は走り去りました。



今度は、ベビーカーを押す女性が前から歩いてきます。あわてて路地の端にベビーカーを寄せて止まる女性。(ラッキー。) 行雄は心の中で叫んで、女性の凍り付いた顔を横目にぐっとペダルを踏み込み、スピードを上げました。

続いて、下り坂に差しかかりました。前方には車も人の姿も見えません。とつぜん、右手から猫が飛び出しました。あわててブレーキをかけますが、スピードが出ていて止まりません。自転車は横滑りになって倒れました。救急車で病院に運ばれた行雄。診断結果は「左足の骨折」絶対安静です…。



【病院での会話】(一部抜粋)

行雄：いつも安全運転しているよ。
でも今日は急に猫が飛び出してきたんだから、しかたないだろう。
父親：昨日、自転車ですごいスピードを出していたんだってな。
行雄：えっ。でも、人にはぶつからないように通り抜けたよ。
父親：人にはぶつからないようにするだけが、安全運転なのか。
(行雄は心の中でつぶやく。僕はちゃんと安全運転をしていたはず…。)



問題点 3班

- 母との約束があるのに、サッカーの約束をした
- 寝坊したこと
- 人にぶつからないことと「安全運転」だと思っている
- スピードの出しすぎ
- 自称安全運転
- 時間を見えない

行雄の思い込み“安全運転”を「自称安全運転」と表現しています。なるほど!



4班

問題は?

- 安全運転をしていなかったから
- ヘルメットをかかっていたいなかったから
- ねぼっもしたから

「ヘルメット」は自分達の生活に基づいた指摘ですね!

1班

- スピードの出しすぎ
- 危険運転
- 行雄自身 大変な人
- そもそも安全運転がなにか分かっていない
- 自転車のまわりを字んたほうかに
- 2ヶ月間くらいは三輪車のほうがいい

「安全運転が何か分かっていない」と冷静で厳しい意見が!



多様な意見が出され、大変おもしろく「なるほど!」と考えさせられる授業でした。